

一般社団法人 山梨県情報通信業協会会報誌

会報 YSA

山梨県
情報通信業
協会

03

夏

2026.6月発行



花の都公園

INDEX

●会長挨拶	P2	●山梨テクノICTメッセ2025	P7
●令和8年 新年講演会・賀詞交歓会	P3	●山梨県警察サーバーセキュリティ競技会	P8
●令和7年度 通常総会・講演会・交流会	P4	●活動報告_ダイバーシティプロジェクト	P8
●令和7年度 YSA親睦ゴルフコンペ	P5	●山梨県ICT企業ガイダンス	P8
●令和7年度 夏季講演会・納涼会	P6	●新規会員の紹介	P9
●AI・データ利活用スペシャリスト養成講座	P6	●INFORMATION(令和8年度主要行事)	P10
●課題解決プログラム	P7	●編集後記	P10



Yamanashi Information Service Industry Association



ごあいさつ

一般社団法人
山梨県情報通信業協会
会長

長坂 正彦

株式会社ワイ・シー・シー
代表取締役社長

設立30周年を経て目指す、「人が輝くデジタル社会」への挑戦

平素は山梨県情報通信業協会に格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

年初より、国際紛争の余波による原材料コストの上昇、適正な賃金アップへの社会的要請等々、会員各社の経営を取り巻く環境変化も注視して行かねばなりません。早期の国際情勢の沈静化が図られ、国内政治の主導性のもと地域経済の活性化、企業の成長投資への機運醸成を期待したいと思います。何より働く方々のご健康とご健勝を願いつつ、情報サービス産業及び山梨県情報通信業協会の繁栄、会員各社のご隆盛あらんことをご祈念申し上げます。

当協会は設立30周年を経て、社会のデジタル化の進展に合わせDX（デジタルトランスフォーメーション）の先導役を担わなければなりません。又、公的セクターや企業の生産性向上に加え、付加価値創出に資するソリューションやプロダクト及び付帯技術サービスを提供するための基盤強化を図りたいと思います。とりわけ将来を担う技術者の育成やスキルアップを最重要課題として認識して、各種の支援事業を重視して参ります。

山梨県は先端技術製品の生産出荷額が県内GDP（約3.5兆円）の約3割を占め、モノづくり産業の集積が図られつつあります。先端半導体装置やロボティクス等の基幹産業を中核に、医療装置機器への参入が動き出し、更には航空宇宙防衛分野への製造技術の展開を模索する山梨県の新産業ビジョンなどを背景に県外からの起業参入が期待されています。

同時に、地元のICT産業との積極的な交流が求められて

います。今後は「産学官金との連携」はもとより、社会インフラを担う装置産業や各産業分野とのコラボレーションが拡大するものと考えます。そのような観点から、山梨県最大の先端産業技術製品や情報技術の展示会である「山梨テクノICTメッセ」では山梨県機械電子工業会の理解を得て、昨年より主催者の一角に名を連ね、協会会員が積極的な展示ブース出展などを通じて、ICT業界の存在意義や役割を広く県民の皆様に訴求してまいりたいと思います。

デジタル技術の進展は、第四次産業革命に称される生成AIの出現などによりGPT-AI革命の時代の渦中にあります。全ての分野においてDXを超えAX（AIトランスフォーメーション）への潮流が迫ってきます。ICT、デジタル業界の構造的転換への備えも不可避となるとの認識を持たねばなりません。更には、複雑化するデジタル技術の暗部として日常的なサイバー攻撃に晒されるなど、情報セキュリティ対策が求められます。協会としてもサイバーセキュリティ対策強化への啓蒙活動等を重視したいと思います。

目まぐるしく変化するICT活用の社会的ニーズに応え、「人が輝くデジタル社会」の実現に向けた活動を推進したいと思います。新たな人材獲得のためにも魅力ある産業を目指し、働き方改革やダイバーシティの推進にも常設委員会を設置して注力して参ります。会員相互に切磋琢磨し、協会活動を通じて産業としての存在価値を高めて参りましょう。

皆様の益々のご健勝、ご発展をご祈念申し上げますとともに、当産業が飛躍することを願ひまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和8年「新年講演会・賀詞交歓会」の開催

1月28日(水)、シャトレゼホテル談路館にて、令和8年 新年講演会・賀詞交歓会が開催されました。

今年はシャトレゼホテル談路館にて、多数のご来賓、会員に方々にご参加いただき開催しました。

新年講演会では、「甲州財閥にみる進取と公益性」と題して、山梨県立博物館 学芸課 学芸員 小畑茂雄様をお迎えし、ご講演をいただきました。甲州財閥の人物像やその功績はじめ、彼らを生んだ山梨の地域的な特徴をひもとくお話をいただき、改めて甲州財閥を知る良い機会となりました。

賀詞交歓会では、冒頭に長坂会長が挨拶され、当協会が創立30周年を経て、社会のデジタル化の進展に合わせ、DX(デジタルトランスフォーメーション)の先導役を担わなければならない。また、公的セクターや企業の生産性向上に加え、付加価値創出に資するソリューションやプロダクト及び付帯技術サービスを提供する業界として、その基盤強化を図りたい。特に、技術者の育成やスキルアップを最重要課題と認識し、各種支援事業を重視していきたいとの挨拶がありました。

また、年頭にあたり当協会の今年の漢字を「実」としました。「魅力ある産業として、さらに成長できるよう、課題に対して実効的な対策を講じ、全会員が協力して実績を積み上げていって欲しい。」と力強く発信されました。来賓として、山梨県知事代理 斉藤新価値・地域創造推進局長、永井参議員議員、甲府市樋口市長、山梨県関係者、市町村首長、(公財)やまなし産業支援機構、(一社)山梨県機械電子工業会、(公財)山梨総合研究所様等をお招きし、来賓を代表しまして、山梨県知事代理 斉藤新価値・地域創造推進局長、永井参議院議員、甲府市樋口市長よりご挨拶をいただき、(一社)山梨県機械電子工業会 青木会長様のご発声にて乾杯し開宴しました。賀詞交歓会の中では、ダイバーシティプロジェクトからの活動報告もありました。講演者の小畑様はじめ、来賓者の方々、YSA会員企業との和やかな親睦を深め、最後は井上YSA理事の締めの挨拶で賀詞交歓会はお開きとなりました。



YSA中込副会長の開会挨拶



山梨県立博物館 小畑学芸員様の講演



YSA長坂会長の交歓会挨拶



山梨県知事代理 斉藤様の来賓者挨拶



山梨県機械電子工業会 青木会長の乾杯ご発声



参議院議員 永井様の来賓者挨拶



甲府市市長 樋口様の来賓者挨拶



ダイバーシティプロジェクトの活動報告

令和7年度「通常総会・講演会・交流会」の開催

6月16日(月)、シャトレゼホテル談露館にて、令和7年度通常総会・講演会・交流会が開催されました。

80名出席のもと通常総会、講演会、交流会が執り行われました。また、通常総会において提出の議案が全て可決されましたことも併せてご報告申し上げます。報告事項においては、新たな会員の紹介があり、代表者からご挨拶をいただきました。

総会終了後、株式会社NTTデータ経営研究所の三谷慶一郎様に「デジタル人材が活躍できる環境をつくる」と題して、ご講演をいただきました。講演のなかで、「リスク環境の整備」や「失敗を容認する環境の整備」が重要であるとのお話が印象的でした。講演会終了後、交流会を開催しました。交流会では講演者の三谷様とのQ&A、来賓者を変えて会員企業との近況報告や情報交換を深め、最後は宿沢YSA理事の締めめの挨拶で交流会はお開きとなりました。

ご参加いただきました会員の皆さまには改めて感謝申し上げます。

今後とも協会事業に引き続きご協力を賜ります様、お願い申し上げます。



YSA新規会員の挨拶



YSA新規会員の挨拶



NTTデータ経営研究所 三谷様の講演



参議院議員 守屋様の来賓者挨拶



参議院議員 永井様の来賓者挨拶



交流会の様子

令和7年度「YSA親睦ゴルフコンペ」の開催

7月12日(土)、富士レイクサイドカントリー倶楽部にて、令和7年度第1回YSA親睦ゴルフコンペが開催されました。

梅雨明け前、連日の猛暑が一休みした絶好の曇り空のなか総勢19名が参加しました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした！

【成績】

優勝：小林 登(株ふじでん)
準優勝：宿沢 一六(株ネオシステム)
3位：井上 清美(株プリリアント)
ベストグロ：田丸 淳一(株ウインテックコミュニケーションズ)



第1回YSAコンペ(夏)集合写真



表彰式 井上交流委員長挨拶



表彰式 乾杯お疲れ様でした



集合写真

11月1日(土)、小淵沢カントリークラブにて、令和7年度第2回YSA親睦ゴルフコンペが開催されました。

秋晴れの小淵沢カントリークラブで、待望の秋コンペを開催しました。今回の参加者は19名。皆さん笑顔いっぱい、最高の一日となりました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。

【成績】

優勝：柳本 裕(株ワイ・シー・シー)
準優勝：吉川 章弘(NTT東日本(株)山梨支店)
3位：宿沢 一六(株ネオシステム)
ベストグロ：中田 正久(株コンピュータマインド)



パーティー風景



優勝者コメント 本日はメンバーに恵まれ...



令和7年度「夏季講演会・納涼会」の開催

7月24日(木)、シャトレゼホテル談露館にて、令和7年度夏季講演会・納涼会が開催されました。

講演会では、「備えよう防災・減災 多発する異常気象、データ社会・今・未来に対応できる進化した避雷針 dinnteco」と題して、サンテレホン株式会社 会田様、株式会社エヌディエス 有賀様より、ご講演をいただきました。ご紹介いただいた「dinnteco」は落雷現象を発生させないことをコンセプトに開発された次世代型避雷針で、世界37ヶ国が選んだ、“落とさせない”避雷針との

説明があり、大変興味深い講演内容でした。会員企業においても今後の事業展開検討に向けた活用を検討していきたいと思います。

納涼会では、45名の方々にご参加いただき、井上交流委員長の乾杯により開宴し盛会のうちに終了することができました。



サンテレホン(株) 会田様、(株)エヌディエス 有賀様の講演



YSA 井上理事の乾杯ご発声

「AI・データ利活用スペシャリスト養成講座」の開催

AIやデータ利活用などの先端技術を扱う技術者を養成するための講座(山梨県委託事業)を開催しました。

イベント名称	AI・データ利活用スペシャリスト養成講座
開催日時	2025年10月～11月 6回開講
参加の条件	① YSA 会員企業に所属する技術者であること ② Python 等のプログラミング基礎知識を有すること
申込者数	YSA 会員企業 20 名 山梨大学学生 4 名
会場	山梨大学 甲府キャンパス 情報メディア館 2 階 第 3 実習室



事業概要

本業務では、一定程度デジタル技術の素養がありAI・データ利活用について今後事業に活用していく目標のある技術者を対象に、専門知識及び技術を有する大学と連携してAI・データ利活用などDX推進のためのスペシャリスト養成講座を開催しました。これにより、県内自治体や企業等のDX推進に必要な先端技術を扱う人材の育成や、技術者相互の情報交換によるスキル向上を促進するとともに、DXの取り組みに関する相談体制の整備や支援など、県内で自走可能な環境の構築を目指すことを目的としました。

本事業の効果

- YSAの会員69企業(正会員、賛助会員、特別会員)のうち13企業20名、山梨大学学生4名の参加となりました。
- Python等のプログラミング知識を有する方を対象に募集しましたが、実際のアンケート記述では約半数がPythonの実務がほとんどない方でした。しかしながら、理解度においては「理解できた」「少し理解できた」、満足度においても「満足」「やや満足」が多くを占めたことから、Pythonの経験に関わらず体系的に学習できる内容だったことが伺えます。

養成講座の様子



「課題解決プログラム」の開催

生成系AIを活用したアプリ開発をテーマとした課題解決ワークショップ（山梨県委託事業）を下記のとおり開催しました。

本業務では、県内の企業（製造業、小売業）が抱えている実際の業務課題に対して、生成AIを活用した解決方法を学び実践する内容としました。

イベント名称	生成AIとデータサイエンスを活用した課題解決ワークショップ
開催日時	2025年11月～2026年1月 4回開講
参加の条件	③ 山梨県内在住のITエンジニア及び学生 ④ Pythonのコーディング知識を有する人
申込者数	6名
会場	山梨大学 甲府キャンパス 情報メディア館 2階 第3実習室

養成講座の様子



事業概要

山梨県ではDX推進計画を策定し地域社会全体のDXを推進していますが、県内企業・団体の多くはAIなどの専門的なスキルに特化したスペシャリストについて自組織内で育成・確保することは難しい現状にあります。本業務ではAIやデータ活用などDX推進のための人材育成・養成の観点から、県内IT企業のエンジニア及びITを学ぶ学生を対象にAIを活用したアプリ開発をワークショップを通して体験・学習し、県内のAIやDXのニーズに応えられるエンジニアを育成することを目的としました。

本事業の効果

- 実施後のアンケートでは、「非常に満足」「やや満足」が過半数だった一方で、「どちらともいえない」「あまり満足していない」の回答も目に付きました。生成AIの利用についてある程度の経験や知識がある人がいたチームは比較的スムーズに作業を進めることができた一方、未経験者のチームでは難しかったようです。
- 参加者は6名でしたが、製造業の経営者(1名)、県内企業のDX化を推進しているITコーディネータ(3名)、フリーランスやIT企業所属のShingen.pyメンバー(7名)などが、生成AIの最新技術の活用現場を見ることができたことは、今後の県内のDX化の推進に大きな影響を与えていき、本事業の効果の一つともいえるでしょう。

「山梨テクノICTメッセ2025」の開催

11月14日（金）～15日（土）、アイメッセ山梨、ベルクラシック甲府にて、山梨テクノICTメッセ2025が開催されました。

当協会は今年度より主催者として運営しました。山梨県最大級の“ものづくり”と“情報通信”の展示会として、県内外の企業・団体による高度な技術・製品・サービスの展示を通じて、新たな連携・取引の創出、地域経済の活性化を目指す商談展示会としてYSA会員企業が参加しました。今回も「やまなしの熟練技術とICTの最先端ここから世界へ!!」をテーマに、DXやカーボンニュートラルといった社会課題に向けたソリューションの発信、新製品や独自技術のPRの場として、YSA会員企業のさらなる発展の契機となればと思っています。出展されたYSA会員企業の皆様、お疲れ様でした！

また、開催期間中に、「山梨テクノICTメッセ2025 記念講演会」が、ベルクラシック甲府とアイメッセ山梨（ライブ映像）の2会場で開催され、YSA会員企業の多くの皆様に参加しました。講師に東北大学特別荣誉教授・災害科学国際研究所特任研究員の中沢正隆様をお迎えし、「グローバルな情報ネットワークを支える光通信技術の現状と将来展望」と題して講演していただきました。日々の生活を支える光ファイバを活用したグローバルな通信ネットワークについて、そのシステムを構成する

各種光デバイス技術と今日の様々な光伝送技術、そして世界に先駆けて挑戦している光伝送技術と無線通信の融合を目指したBeyond 5G(6G)技術についての説明があり大変勉強になった講演でした。



3Dモデリングコンテスト
2025表彰式



東北大学特別荣誉教授・
災害科学国際研究所特任研究員
中沢様の講演



講演会の様子

「山梨県警察サイバーセキュリティ競技会」開催

山梨県インターネットプロバイダ連絡協議会・山梨県警察本部が主催する、山梨県警察サイバーセキュリティ競技会(官民連携CTF大会)を開催しました。

コンテスト順位

1位、2位はエーティーエルシステムズ、
3位はテレビ山梨(UTY)でした。

イベント名称	山梨県警察サイバーセキュリティ競技会
開催日時	2026年2月2日
参加者数	30名
会場	山梨県警察学校

YSAのサイバーセキュリティ活動に対して
山梨県警察本部より感謝状を授与されました。



「活動報告_ダイバーシティプロジェクト」

2月12日(木)、山梨県立図書館 多目的ホールにて、YSAダイバーシティプロジェクト主催による講演会を開催しました。

講師には、専修大学国際コミュニケーション学部教授 河野真太郎様をお迎えし、「ポピュラー・カルチャーから見るジェンダーと無意識の思い込み ～職場や日常に潜む偏りを考える～」と題して、ダイバーシティ推進において課題となる社会的な課題(ジェンダー、アンコンシャス・バイアスなど)を、ポップカルチャーという身近な視点から講演していただき、YSA会員企業36名が参加しました。

誰もが持つ思い込みを知り、行動変容のきっかけになるとともに職場や日常に潜む偏りを考える良い機会となりました。また、参加者にはアンケートもお願いしました。アンケート結果のまとめとして、幅広い年代層に参加いただき、特に30代～50代が全体の78%を占めていました。また男女比は、男性39%、女性58%(未回答1名)で、参加者は性別に関わらず今回のテーマに関心を持たれていることが見えてきました。講演会の内容・講師の進行につい

て、概ね全員がスムーズかつ内容がわかりやすいと回答しており、参加者の皆様に満足していただけたことがうかがえます。今回のテーマである「ジェンダー」や「アンコンシャス・バイアス」の重要性については、92%が“気づき”や“理解”を得たとして認識にプラスの変化を感じていました。参加者からの感想からは、講演会を通して、多くの方が「自分は思った以上に決めつけや先入観で人や物事を見ていた」と感じた様子がうかがえました。



専修大学教授 河野様の講演



講演会の様子

「山梨県ICT企業ガイダンス」の開催

2月13日(金)、ベルクラシック甲府にて、山梨県ICT企業ガイダンスを開催しました。

19社のYSA会員企業が参加し、大学院・大学・短大・専門学校等の学生及び、求職者の方に対し企業ガイダンスを開催しました。当日は、山梨県内のシステム開発、

情報通信に従事しているYSA会員企業の採用担当者、開発担当者が直接ガイダンスを行いました。43名の学生の皆様に参加していただきました。



企業ガイダンスの様子

「新規会員のご紹介」

新たに2社が会員となりましたのでご紹介します。

■株式会社甲斐電設■

企 業 名	株式会社甲斐電設
設 立	1980年8月
従業員数	38人
代表者名	依田昌樹
事業内容	電気設備工事、光回線工事、通信設備施工、ネットワーク構築、CATV伝送路保守を行う電気通信技術企業です
企 業 P R	株式会社甲斐電設は、電気通信分野を中心に、光回線工事、通信設備施工、ネットワーク構築、CATV伝送路保守など、地域のインフラを支える技術サービスを提供しています。住宅・企業・自治体向けに、電気・通信設備の施工から障害対応まで一貫して対応できる体制を整え、安定した通信環境の構築と維持に取り組んでいます。
所 在 地	山梨県甲斐市名取684-3
電話番号	055-276-0682
HP URL	https://www.big-advance.site/c/158/1251



■旭陽電気株式会社■

企 業 名	旭陽電気株式会社
設 立	1968年4月
従業員数	550人
代表者名	金山 雄一郎
事業内容	・電子部品製造（ハーネス・ケーブル製造） ・EMSによる一貫製造事業 ・社会インフラ整備事業
企 業 P R	当社は58年のノウハウを活かし、ハーネス・ケーブルの電子部品製造から、設計、調達、製造、取付、保守まで一貫対応するEMS事業を展開しています。さらに、防災・減災や通信ネットワークなど社会インフラの構築・運用にも携わり、迅速な対応で地域の暮らしを支えています。 また、「ウェルラボ」の取り組みを通じて従業員の“幸せ”を大切にしています。木の温もりのある開放的な工場には、地域に開いた食堂や託児所があり、地域と自然にやさしい“新しい製造業の形”を追求し続けています。
所 在 地	山梨県韮崎市神山町鍋山300
電話番号	0551-22-1667
HP URL	https://www.kyokuyo-e.co.jp/

会員加入状況

	令和8年3月31日 現在	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
		入会	退会等	変更
正会員	59	2	3	
賛助会員	6			
特別会員	1			
合計	66	2	3	

※会員募集中!! お知り合いの同業者の加入を呼びかけてください。事務局がフォローいたします。

INFORMATION

事務局からのお知らせ



令和8年度主要行事

4月13日～14日 YSA新人社員研修
 5月20日 理事会
 6月18日 理事会・通常総会・講演会・交流会
 7月 9日 第1回メトロ事務局会議
 7月17日 理事会・夏季講演会・納涼会
 7月18日 第1回YSA親睦ゴルフコンペ
 9月 9日 理事会
 10月 2日 メトロエリア・グリーン会
 10月14日 理事会
 10月30日 第2回メトロ事務局会議

11月 6日～7日 山梨テクノICTメッセ
 11月 第2回YSA親睦ゴルフコンペ
 1月26日 理事会・新春講演会・賀詞交歓会
 2月18日 メトロビジネス交流会
 3月 5日 メトロ幹部会
 3月17日 理事会

※セミナー、研修会、その他イベントも計画しています。
 詳細が決まりましたら案内します。

編集後記

6月に入り、多くの地域で梅雨の季節を迎えました。街路樹の緑が一層深まり、紫陽花が美しく彩りを添える中、雨に濡れる青葉もまた初夏の風情を感じさせてくれます。昨年度に引き続き、会報誌第3号を発刊いたしました。

当協会では、各委員会及びダイバーシティプロジェクトなどにおいて、活発な活動が展開されています。交流委員会(会報誌編集担当)では、これらの活動を、より多くの会員や関係者の皆様に広く発信していきたいと考えております。一人でも多くの皆様に手に取ってご愛読いただける、魅力的な

会報誌を目指し、内容の充実と工夫を重ねてまいります。また、単なる情報発信にとどまらず、会員同士を繋ぐ架け橋として、新たな絆が生まれるきっかけとなるような会報誌を目指してまいります。

新年度が始まり、早くも2ヶ月が経過しました。職場や生活環境が変わられた方も多いことと思います。どうぞ体調管理にご留意いただき、元気にお過ごしください。魅力ある産業として、今後さらに成長できるよう、全会員が力を合わせて実績を積み重ねてまいりましょう!



一般社団法人 山梨県情報通信業協会会報誌

〒400-0055 甲府市大津町2192-8
 TEL.055-243-2046 FAX.055-206-0351
 URL <https://www.ysa.or.jp/> E-Mail info@ysa.or.jp
 編集・発行/一般社団法人 山梨県情報通信業協会 交流委員会